

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年4月に、市長として2期目のスタートを切ってから最初の新年を迎えました。皆さまの温かいご支援とご指導をいただきながら引き続き市政運営に邁進することができましたことを、深く感謝申し上げます。



昨年は、4月に親子の交流や育児に関する相談ができる「すくっと（親子交流館）」が、10月にふるさと教育を推進する「ふるさと教育センター」がそれぞれオープンするなど、子育て・教育環境の充実に取り組んでまいりました。

本年も、「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」「住み続けたいまちづくり」「未来につながるまちづくり」を重点方針に掲げ、市民と本市を訪れる方が共に元気なまちを実感できるよう、さまざまな施策を推進してまいります。

具体的には、これまで取り組んできた「田原市サーフタウン構想」の推進とともに、本市の強みである自然や日本一の農業を活かした地域産業の活性化を図ります。伊良湖地区では、「温泉の掘削」が始まりますので、市民の利用はもとより、観光産業の起爆剤となる活用や運営に取り組めます。

また、小中山地区での「津波避難施設」の整備や、近年大型化している台風などの風水害対策についても万全を期し、安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

さらに、東三河一体となって取り組んでいる「浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）」、大型船舶の接岸が可能となる「田原公共ふ頭の耐震強化岸壁」の整備促進など、次の世代が夢を持って暮らせるようにまちの基盤づくりに努めます。

一方、市民サービスの最適化の視点から第4次田原市行政改革大綱を策定し、事務の効率化、財源の確保にも積極的に取り組めます。

今後も元気な渥美半島、さらなる住み良さの向上を目指してまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

田原市長 山下政良

[写真]片浜十三里